

Message

子どもたちの“笑顔”と 自衛隊員の無事を祈る“涙”が原点

養護施設の保育士として22年。社会に送り出した子どもたちが、大切にされ、輝く笑顔たやすことがないように。

数年前、海外派兵を見送る一人の女性が、自衛隊北吸栈橋からではなく、離れた前島埠頭で涙を流し見送っていた光景を忘れる事が出来ません。そんな涙を再び見ることがないように。

これが私の原点です。

みなさんからご支援いただき、市会議員として5期20年。この間、みなさんの願いまっすぐ議会に届けてきました。しかし、「株式会社舞鶴市役所」を公言する市長のもとで、公的責任がずいぶんおろそかにされ、自助・共助が強調されています。「住民福祉の機関」としての自治体の役割を発揮し、市民の命と暮らし守れとはきりものを言い、今後も引き続き頑張ります。みなさんの大きなご支援をよろしくお願い致します。

日本共産党舞鶴地区委員会が、次の見解を発表しましたので紹介します。

舞鶴民報 号外 2022年10月8日
発行／日本共産党舞鶴地区委員会 ☎65-4050

ホームページを
ご覧下さい →



だれもが大切にされる あったか市政へ

はっきりものを言い市民目線で市政をチェック

いだ
悦え
子こ



日本共産党

プロフィール

現在、市会議員5期。市民文教常任委員会副委員長。広報委員会FM部会副部長。議会報部会。党地区委員・舞鶴原水協副会長。1955年京都市北区生まれ。養護施設舞鶴学園22年勤務。趣味は多くの仲間と歌うこと。白浜台在住。

みなさんによりそい パワフル母さん 全力投球！

絶対あきらめません！
ねばり強く
願い届け続け20年



みなさんの願いの
声、
しっかり聞きます！

①子どもの医療費助成の拡充を！

20数年前からこの願い届け続けてきました。当時より前進したとはいえ、府内でも最低レベル。今や小中学校卒業まで無料化は当たり前です。市長のやる気があれば拡充できます。(現在、中学生の通院は1,500円を超えなければ助成対象にはなりません)



ハッキリ
ものを言い
お願い伝えます！

②市民によりそう市政運営をと市長にもの申す！

広報まいづる市長コラムで「少数議員団の公約は全く実現不可能」「公約を実現出来る候補者を選んで」と発言。意見の違いがあっても、「全ての市民により添い、公平に話を聞く」。これが市政運営の出発点です。市民に寄り添う市政運営を求め続けました。

③負担増、市民サービス切り捨てやめよ！

この間、ごみ処理手数料の値上げやあらたな負担。施設使用料、利用料の値上げ。文庫山学園の廃止など、「受益者負担」の名のもと、市民が苦況に追いやられています。自治体は本来「住民福祉の機関」のはずです。

④「岸壁の母」の悲劇再び繰り返してはなりません！

戦争する国づくりがすすめられ、再び舞鶴が出撃の港になる危険がそこまで迫ってきていると感じています。戦後77年。憲法9条のもと、自衛隊員から戦死者を出すことはありませんでした。しかし、今、殺し殺される戦地に自衛隊員が…自衛隊員の命を全力で守ります。

⑤全ての施策の基本にジェンダー平等の視点を！

ジェンダー平等の社会は、誰もが性別にかかわらず個人の尊厳を大切にされ、自分らしく生きられるすべての人にとって希望に満ちた社会です。ジェンダー平等の視点で施策を展開すれば、「住んで良かったまちづくり」は実現します。



市政を
しっかり見て
チェック！

長引くコロナ禍 物価高騰が
暮らし直撃の時

5つの緊急応援策を提案

- 水道料金の緊急減免などで暮らし応援
- 小中学校の給食無償化など教育費の保護者負担の軽減
- 燃料代・肥料代の高騰対策補助や給付金など農漁業支援
- 国保料・介護保険料の減免など高齢者への支援
- 抗原検査キットの無料配布など感染対策を強化



コロナから市民の暮らし・営業
守れと9回の申し入れ